



Science & Global vol.23

本校は、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）とスーパーグローバルハイスクール（SGH）のダブル指定を受け、探究的学習を中心とした生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促す様々な教育活動を行っています。両事業とも5年間の指定です。平成25年度に指定されたSSHは、本年度、第2期目の指定を受けました。また、平成26年度からスタートしたSGHも、今年度5年目となります。これまで、地域と関わりながら、多くの外部人材の協力を得て、先端科学あるいは国際的な社会課題に関する課題研究を中心に、多くの成果をあげてきました。これまでの成果と課題を今一度振り返りながら、これからも生徒の資質・能力（コンピテンシー）を伸ばす、意欲的な取組にチャレンジしていきます。

★文部科学省より第2期SSH（平成30年度～34年度）継続指定の内定を受けました★

本校は文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）として指定を受け、平成25年度から平成29年度までの5年間、「科学的リテラシーを備え、国際社会で活躍する人材の育成」を目指し、先進的な理数教育推進事業に取り組んでまいりました。SSH指定以来、新たな学びのスタイルが誘発・定着し、大きな成果を得ることができました。

このたび、第1期SSH事業の成果をさらに深化・発展させた2期SSHの申請に対し、文部科学省から継続指定を受けました。

★SGパワーアップセミナー(講演会)を行いました★

5月21日(月)に、今年度第1回目の「SS・SGパワーアップセミナー」を実施しました。

この日は、島根大学大学院自然科学研究科環境システム科学系物質化学コースの准教授、飯田拓基氏をお招きして、『身の回りにおける化学～分子のかたちと機能～』と題してご講演をいただきました。

会場となった本校第2体育館は、全校生徒と教職員、保護者、県内教育関係者など、およそ1000人の聴衆で埋まりました。

飯田先生は、はじめに化学の源流が古代エジプトや中世ヨーロッパの錬金術にさかのぼることや、化学の歩みについて簡単に触れられました。

そして、炭素を含む有機化合物が、身近な香料や色素として食品や洗剤をはじめとするさまざまな製品に使われていること、また、高分子有機化合物が強靱な構造をもっており、フライパンの加工にも用いられていることなど、私たちの普段の生活の中に化学の成果が取り入れられていることをわかりやすく話していただきました。

講演後の質疑応答では、生徒の質問に対して丁寧に答えていただくとともに、将来化学を学びたいと考えている生徒に有益なアドバイスを与えていただきました。

この講演会は化学に興味・関心があるなしに関わらず、生徒にとって大変有意義なものとなりました。



★2年生普通科でクラス内ディベート大会を行いました★

5月下旬に2年生普通科において、クラス内ディベート大会を実施しました。

今回の論題は、「日本の高校・大学の授業料を無償化すべきである。是か非か」です。

4月中旬にグループ分けを行い、各々のグループが図書館で書籍やインターネットなども利用した調べ学習や、肯定側・否定側どちらの立場になっても意見が関わせられるようグループ内での討論を経て、本番に臨みました。

限られた期間で、十分な準備ができなかったグループもありましたが、どのクラスにおいても、対戦するグループ同士が熱い討論を繰り広げました。

ディベート大会では、自分の考えを筋道立てて相手に伝えるとともに、相手の意見をよく聞いて、それをもとに論理的に反論することが大切になります。

そのためには、物事を多角的に考え、判断する能力も必要となります。

この大会を通して得た経験を今後の課題研究に活かしていただきたいと思います。



★SWISS COTTAGE SECONDARY SCHOOL (シンガポール) の生徒・先生方のご来校★

5月28日、本校のSSHシンガポール研修で2年生理科の生徒が訪問させていただいているシンガポールのSWISS COTTAGE SECONDARY SCHOOL (スイス・コテージ・セカンダリー・スクール) より、14名の中学3年生の生徒と4名の先生が初めて出雲高校を訪問されました。

まず、シンガポールの生徒たちは3クラスに分かれ、授業に参加しました。

生物の授業では本校の生徒とともに水中生物の観察を行い、シンガポールでは見ることのない生物を見る貴重な経験ができたという声が聞かれました。

英語表現Ⅱの授業では、本校の生徒が時系列に沿って手順を英語で説明し、みたらしだんごの調理活動を一緒に行いました。物理の授業では重力に関する実験を行いました。

その後、茶道部、書道部、華道部の3つの部活動に分かれ、日本文化の体験をしていただきました。

茶道部では英語によるお点前を披露し、シンガポールの生徒も初めてとは思えない程上手にお茶を点てる様子が見られました。

半日ほどの交流ではありましたが、自分の知っている表現を何とか活用しながら英語で何かを説明したり、日本文化を紹介したりすることができ、喜んでいただけたことは生徒たちの大きな自信となったことと思います。

今回の訪問で更に2校間の交流の絆を深めることができました。



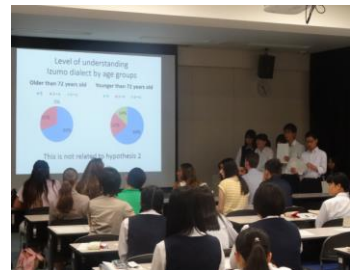
★3年SGH活動にミシガン州立大学の留学生さんが参加されました★

3年生のSGH活動では、現在、「島根大学とのグローバルセッション」「地域創生に向けた高校生からの提案」活動を行っています。

このうち、「島根大学とのグローバルセッション」のグループは、ミシガン州立大学の留学生さん14名とDavid Wong (デヴィッド・ウォン) 先生、島根大学の香川奈緒美先生と大学生・大学院生さんを迎え、英語プレゼンテーション活動のリハーサル(発表本番については下記「今後の予定」参照)を実施しました。

各グループのリハーサルの後は、香川先生によるミニレクチャーがありました。

普段なかなかできない体験をし、生徒たちは緊張しつつも大きな刺激を受けていました。また、英語プレゼンテーションについて課題を持つことができました。



★2年生課題研究ゼミ別講義開催★

7月9日(月)2・3限に、2年生普通科理系の生徒を対象に「課題研究」のゼミ別講義を行いました。

当校では2年次と3年次に「課題研究」を実施しており、その際に指導助言をいただく連携指導教員の先生方をお招きしております。

今回は、12名の先生にご来校いただき、10会場に分かれてご指導を受けました。

当日の前半は、課題研究を進めるにあたり、連携指導教員の方々の経験を踏まえた講義を聴き、後半は、現在生徒が考えている研究テーマ候補についてプレゼンテーションを行い、研究テーマ設定に関し指導・助言をいただくというものでした。

一方、2年生普通科文系クラスのゼミ別講義は7月12日の2・3限に行われました。これは、内容は前回の理系と同様に、前半は連携指導員の先生方の講義が中心となり、後半は各班の生徒が研究テーマ候補に関するプレゼンテーションを行い、研究テーマ設定に関し指導・助言をいただきました。今回は9名の先生にお越しいただきました。

生徒たちは、2時間にわたって先生方のお話やアドバイスに熱心に耳を傾け、ときには質問をするなど有意義な時間をもつことができました。また、ディスカッションでも積極的に意見を述べ、先生のご指導を仰いでおりました。研究テーマを決定するうえで、大変貴重な時間となりました。



今後の予定

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| 7月26日(木) | 【第3学年】地域・社会と関わりながら学びを深める活動 |
| ・27日(金) | ・キッズのためのスーパーサイエンス(於:出雲科学館) |
| | ・地域創生に向けた高校生からの提案(於:出雲市役所、出雲高校久徴会館) |
| | ・島根大学におけるグローバルセッション(於:出雲高校久徴会館、島根大学) |
| 7月30日(月) | 【第1・2学年希望者】SGパワーアップセミナー(於:出雲高校久徴会館) |
| | ・世界にはばたくグローバルなキャリア形成のための特別セミナー |
| | ～海外の大学で学ぶ学生とのグローバル・ワークショップ～ |